



下り宮として有名な草部吉見神社

【予定コース】集合地・熊本市市民会館前 8 時 15 分集合→ 8 時 30 分出発→草部吉見神社（高森町）→昼食（高森駅構内）→弥生時代の環濠集落 幅・津留遺跡（高森町・南阿蘇村）→竹崎水源（南阿蘇村、以下同じ）→八坂神社→祇園遺跡→二本木前遺跡→途中、甲斐有雄翁の道標や村の石垣風景を見学→道の駅「あそ

熊本地名研究会では恒例の現地探訪バスツアーを 10 月 26 日（日）に実施する。今年には阿蘇神社にまつわる祭祀や大宮司家の盛衰など、阿蘇の歴史、特に南阿蘇に焦点を当てて各分野の講師の方々から話を聞いてきた。今回のバスツアーは、各講話を基に実際に現地を訪れて人々の生活に触れ、往時に思いを馳せる旅にする。最初の訪問先は、阿蘇外輪山東麓にあり阿蘇神話の出発の地となった草部吉見神

社。ここでは代々宮司を務める芹口氏から説明を聞く予定。カルデラ内の南郷谷では弥生、古墳、中世の各時代の遺跡を見学する。といつても、古墳以外は遺跡が埋め戻されているため実際に見ることはできないが、地形など遺跡の存在意義を感じることが出来るはずだ。このほか明治期に旅人のために独力で道標を各地に建てた甲斐有雄翁の実物道標や、長年集落や農地を守るために築いてきた石垣群も見学する予定。この機会に是非、ご参加ください。

神社・遺跡・古墳：南阿蘇へ

バスツアー 参加者を募集

10 月 26 日

熊本乃地名

ニュースレター

熊本地名研究会
発行 熊本 崎康弘
編集 松野 国策

題字 松野 国策 書

地名研究会 告知板

10 月 行事日程

- ❖城下町歴史散策「上通町界隈」
10 月 4 日（土）午前 9 時出発
水道町・手取天満宮裏 集合
- ❖現地探訪バスツアー「南阿蘇の歴史を訪ねて」
10 月 26 日（日）午前 8 時 15 分
熊本市市民会館前 集合
- ❖勉強会 テキスト「地名の研究」
10 月 18 日（土）午後 1 時 30 分～パレア会議室 5

＊地名研ブログでも
地名研の活動や関連
ニュースを発信中



『地名と風土』発行

日本地名研究所

日本地名研究所はこのほど情報誌「地名と風土」18号を発行した。特集は昨年、全国地名研究者大会が開かれた三重県伊賀市にちなんで「伊賀・伊勢・熊野の地名と風土」で、全国大会で発表された「日本各地の伊賀地名」（山田雄司三重大教授）など合わせて12本の論考を掲載。

このうち、同研究所長・金田久璋氏の「風の森にてー古代製鉄遺跡と『青銅の神の足跡』を歩く」は、谷川健一氏の『青銅の神の足跡』や梅田徹氏（元伊賀の國地名研究会会長）の著述を参考にしながら、伊賀市を始め各地にある「風の森」やアサシ神社を一つ一つ取り上げ、古代における製鉄遺跡と深い関係があったのではないかと推論する。また、『古事記』研究で有名な三浦佑之氏が「多気村丹生榎ー伊勢本街道をめぐるあれこれ」を投稿。自身の出身地である三重県西部の山村が古くから大和と伊勢を結ぶ街道の要衝にあり、さらに伊勢水銀の産地であったことに触れ、故郷に対する思いを語っている。

ほかに、「一九三〇年代の方言蒐集・研究 ネットワークの一断面」方言・民族研究者・橋正一の方言調査カードを起点として、など論文4本掲載。申し込みは日本地名研究所

特に返信は致しません。当日は参加費をご持参の上、集合場所に遅れないようお集まりください。